

だんだん便り

第24号

2019年10月10日

一般社団法人だんだん会

408-0035 山梨県北杜市長坂町夏秋 918-5

- ・法人本部 **0551-45-9566**
- ・地域看護センターあんあん **0551-30-7505**
- ・定期巡回てくてく24 **0551-30-7787**
- ・オレンジサロンわいわい白州・長坂 **0551-45-9566**
- ・グループホームわいわい白州 **0551-30-7566**

408-0315 山梨県北杜市白州町白須 1023

- ・わがままハウス山吹 **0551-45-6323**

408-0044 北杜市小淵沢町 10123-2



大泉町の散歩途中の標高 1,300 メートルの林で見つけたキノコ「タマゴダケ」。このタマゴダケはとても美味しいキノコなので、持ち帰りバター炒めにさせていただきました。毒キノコの「ベニテングタケ」と似ていますが、ベニテングタケにはカサに白い点があるので判別はできますが、雨の後には白い点が落ちている場合があるようですので要注意です。

八ヶ岳仙人

グループホームわいわい白州（尾白・摩利支天合同編）

ここ最近やや冷え込んできましたが、ここではものともせず熱気に包まれております。
さて、今回は尾白・摩利支天合同編です。踊りの講師の方をお招きし、第二回わいわい祭り開催です。

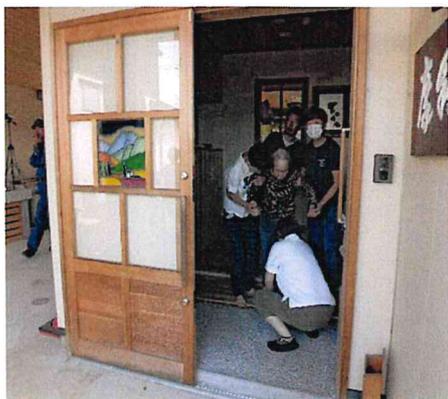


踊りは“同窓会音頭”“炭坑節” あちこちで「懐かしいねえ」「覚えてるよー！」ちらほら聞こえてきました。皆さん絶えず体を動かし笑顔と熱気に包まれ、冷房をガンガンつけたのは言うまでもありません。また、利用者2名は講師の方との久々の出逢いもあり、ここでも「覚えてる？」「久しぶりだねえ」と、同窓会さながらのホッコリした場面がありました。

<職員 鈴木 秀明>

グループホームわいわい白州（防災訓練編）

9月26日に防災訓練を行いました。今回の防災訓練では、夜間帯を想定して職員が少ない状態で緊急時にどのように対応して入居者の方を安全で迅速に避難誘導できるかが課題の一つでしたが、連絡網を瞬時に回して対応。入居者の方を無事避難する事が出来ました。消防署より施設の維持管理も良好であると報告されました。



冷静に被害状況の報告。通報訓練。

迅速な初期消火。消火訓練



消防署の方の指導による。心肺蘇生法訓練



防災訓練を行い、一番良いのは火災を未然に防ぎ火災が起こらない様にする事。 その為にわいわい白州では様々な対策を行なっておりますが、どうしても火災を未然に防ぐ事は不可能なのです。台風や地震・雷などによる自然災害の多い日本ですが、私共職員一同は 本日得た経験が無駄にせず、今後何が起きても迅速に対応し、入居者の方を安全を守りぬく力と知識を学んで行きます。

職員 湯舟 康弘

わがままハウス山吹 (支援付き共生すまい)

来客者の状況

オープンする前から多数の方が見学などに来所されました。突然の来所は原則受けていません。法人本部に連絡をいただき、その上での来所をお願いしています。来所の目的は、2種類で『すぐに入所のためも見学』と『一般的に見てみたい』。オープン前に約200名、その後半年間で200名、合計約400名です。

オープン前の来客数は、約200名でした。オープン前にお披露目を3回実施し、その他にも随時見学を受け付けていました。

開設後の来客数			合計200名
	一般的見学	入居検討見学	合計
件数	57 (76%)	18 (24%)	75
人数	167 (83.5%)	33 (16.5%)	200

入居相談者数とその後		34名
長期入居	5名	34名
短期入居	11名	
その他	18名	

月別来客者数			
	一般的見学	入居検討見学	合計
4月	25	11	35
5月	24	8	32
6月	46	1	47
7月	40	0	40
8月	12	2	14
9月	20	12	32
合計	167	34	200

入居相談者の主な内容

理由	人数
お試し入居 (将来の利用)	7
1人暮らし限界	6
両親の呼び寄せ	5
介護施設・サ高住からの転居	5
医療ニーズの高い要介護者	3
楽しい暮らしの場	2
ホスピス (転居)	1
家族の病気で緊急入所	1
その他	4
合計	34



わがままハウス山吹 (支援付き共生すまい)

入居者の状況

入居者は、4月から9月までの6か月で合計16名でした。その内訳を報告します。入居は大きく分けて、2種類で、『長期入所』と『短期入所(1か月以内)』です。10月に入って、入居者が急増し、長期入所が7名、中期入居が2名、短期入居が1名と、部屋が残り少なくなってきました。

入居部屋数は、長期入所が8部屋、短期中期入所が2部屋、緊急入所は1部屋です。

利用実人数

	長期入居	短期入居	合計
利用人数	5	11	16

月別利用人数

	長期入居	短期入居	合計
4月	3	3	6
5月	4	2	6
6月	4	3	7
7月	4	3	7
8月	4	1	5
9月	5	2	7

諸事情で3か月間の『中期入所』という方もいました。今回は『短期入所』に入れて統計を取りました。

年齢

	長期入居	短期利用	合計	割合
70歳代	0	2	2	13%
80歳代	3	5	8	50%
90歳代	2	4	6	38%

性別

	長期入居	短期利用	合計	割合
男性	0	4	4	25%
女性	5	7	12	75%

要介護度

	長期入居	短期利用	合計	割合
要介護1	1	1	2	13%
要介護2	2	3	5	31%
要介護3	0	0	0	0%
要介護4	0	1	1	6%
要介護5	0	0	0	0%
なし	2	6	8	50%

認知症の有無

	長期入居	短期利用	合計	割合
なし	1	3	4	25%
軽度	0	2	2	13%
中等度	2	5	7	44%
重度	2	1	3	19%

歩行状態

	長期入居	短期利用	合計	割合
階段OK	4	4	8	50%
何とか	0	4	4	25%
車椅子	1	3	4	25%

10月の長期入居者7名の入居理由は、一人暮らしの不安などで入居の方が4名、サ高住からの転居が1名、介護施設からの転居が1名、楽しい生活を送る目的の方が1名です。

中期入居者は、当面春までの数か月間の入居希望者、2泊3日などの短期入居者は、将来のためのお試し入居や家族が留守の期間の利用などです。

地域看護物語

一人だからこそやれるってこんだな！

地域看護センターあんあん 浅見玲子

98歳で現役の仕立て屋さん

橘田眞具(きった まさとも)さんは98歳。

現役の仕立て屋さんです！古くからの町の仕立て屋さん。ズボンの裾上げや上着の丈直しなどを頼みに昔からのお得意さんが今もお店を訪ねてきます。現役で仕事を続けることは楽しみです。

一人暮らしの橘田さんの一日は朝5時起床。10分間の体操から始まります。掃除、洗濯、調理はすべて自分でやります。風呂も毎日入ります。買い物は宅配便で注文。仕事をしたり新聞読んだり、テレビを観たりして過ごします。腰部脊柱管狭窄症で足の痺れと痛みがあり、捕まり歩行しかできない橘田さんは外出することはありません。それでも生活することすべてが楽しみと仰います。

橘田さん支援チーム

10数年前に妻を病気でなくされてからずっと一人で暮らしてきましたが、平成30年に大病をなされ入院。

在宅に戻ることに「ヘルパーさんや福祉用具を入れることは簡単だが自分でできることは自分でやりたい。誰かを頼るようになったらおしまいだ。今の一人での生活を維持するための支援をしてほしい」と。

そういう橘田さんの要望に応じて、担当のケアマネージャーは、その支援を実現するために【橘田さん支援チーム】を作りました。在宅診療医師、訪問看護師、訪問理学療法士、インフォーマルなヘルパーさん、そしてご近所の皆さん。

毎朝お店のカーテンが開いているか、夕方には閉じているかは橘田さんが今日も元気に暮らしていることのサイン！

今年の酷暑だった夏には在宅医師の声かけで毎日支援チームの誰かが訪問して無事に過ごしているか確認しました。

「先生や看護師が来てくれるから身体のこと安心。皆さんが来てくれて話しをすることが楽しい」



くよくよしないで

「なかなか大変だぞ。足も痛いしよろけるし。その身にならなければわからん。でも誰かがいたらだめ。一人だからこそ頑張ってると思う。くよくよしないで、うまいものは食わないこと。毎日着るものにはアイロンをかけてピシッとしてな。若いときから死んだほうがましなんて考えたこともない。だからいくつまで生きたいなんて考えない。今日一日を楽しく生きる」そう言い切る橘田さん。

その人らしく最後まで生ききる支援

その人らしく最後まで生ききる支援をすることは、その人の生き方を尊重して、できることは奪わないでそっと見守り、お困りごとが出てたら速やかに手をお貸しする、そして支援チームのつながりを良くしておくことだと思います。懸命に一日一日を生きている橘田さんを応援しています！

てくてく物語

『定期巡回てくてく24』(定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業)の活動内容の一端を連載でお伝えしています

認知症は軽い???

一人暮らしの佐々木さんの依頼

ケアマネさんより新しい利用者さんの佐々木さんのてくてく依頼がきました。

1人暮らしの80歳代の女性の方、要介護1。近隣には、声をかけることや差し入れするような親戚がありません。ご近所つきあいもあまりありません。週1回の配食サービスと週2回のデイサービスは利用していますが、きちんと食事をしているかがあいまい。そのことが心配で一日2回のてくてくがプランに加わりました。

「認知症は軽い」

担当者会議では、「失禁はなし。自分でできることが多いが、何かするのが面倒になっているよう。認知症は軽いので、いっしょに食事を作るなどで、日常生活を整え、本人の支えになってください」とのことでした。

いろいろ質問すると、「わかった、わかった」「それはやっておくのでいいですよ」とその場に合った返事が返ってくるので、認知症の状態はあまりよく見えなかったようです。

あれ？ お尻びっしょり

ある日のこと。

「いっしょに食事を作りましょうか」

「そうだねえ、台所に行こうか。よいしょ」と立ち上がりました。そうしたところ、座っていた椅子がびっしょり！

「あれあれ、佐々木さん、椅子もズボンもびっしょりになっていますよ」

「あら、そうだねえ。じゃあ履き替えようかね」と驚いた様子がない……。リハパンもパットも何もない。さてどうするか……。

実は、時々失禁状態になるのです。ご本人に相談してリハパンなど準備しました。

電子レンジ？ 埃レンジ？

食事作りの支援で台所に入ってみると、なんとあちこち埃が積もっているんです。電子レンジの上には数ミリの埃。その中にネズミの糞も……。まさに“埃レンジ”かな。ゴミ箱を除くとショウジョウバエが多数・多数・多数……。

配食サービスで食べた空き容器のゴミは、残飯も一緒に大事な書類といっしょに廊下に積み上げられている……。

さあ、どこからキレイにしましょうか。てくてく職員みなで話し合いました。少しずつきれいにして、ある日は特別体制で職員二人で数時間臨みました。

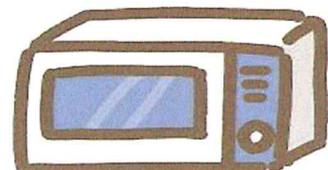
その結果、ショウジョウバエが1匹もない状態まできれいになりました。佐々木さんはそれを見て、「あら、ずいぶんきれいになったわね」と涼しい顔です。

1人暮らしの方

「あとでやろう」「そのうち、まとめて片付けよう」「ちよっとぐらい、いいや」「娘が来たらやってもらおう」。やらなければならないとわかっていても、つつい何らかの理由も見つけては、後回しにしてしまって、家の中が大変な状況になっていることがよくあります。

1人暮らしの方は、なかなか認知症の程度がわかりにくいです。その点、一日数回支援に入る定期巡回サービス(てくてく)は、よく把握できるし支援の量も内容もわかります。

きれいにしますよ！！ どうぞ早めに声をかけてください！！



オレンジサロンわいわい白州・長坂・こぶち



オレンジサロンわいわい長坂では

「シルバー川柳」を皆さんに披露して話題を広げています。

- ・診察券 トランプするほど 持ってます
 - ・わが道を 行くと豪語し 道迷う
- ・格差より 段差がこわい 老夫婦
 - ・うまかった 何を食べたか 忘れたが
- ・仲いいね いいえ夫は 杖代わり
 - ・古希を過ぎ 鏡の中に 母を見る



シルバー川柳は、石津さんご紹介して下さいますが、何と20回を迎えました。毎回笑わしていただく川柳、「確かに・・・」実感がこもる川柳、微笑ましくもなります。

「次は、自分で川柳を作ってみましょう」と石津さんから提案がありました。

「五七五」でなく「自由律」でいいのではと・・・

まずは、ご自分の生活の思い出を川柳に！

近いうちに、仲間の川柳をご紹介できるといいですね。

オレンジサロンわいわい長坂 秋の味覚が・・・！



長坂サロンの会場に「ぶどう」が実りました！？



今日は何しようか？

どうしようかな・・・なんでもいいよ・・・
そんな会話から始まるサロンですが、
即興で創作しました。

大きなブドウの房が沢山できたので、ブドウ棚を連想して見立ててみました。

「ブドウ狩りなんて、トンとご無沙汰だなあ」とつぶやく声がしてきました。

「体験」は何時でも新鮮です。
お出掛け体験を企画しようかな・・・

あーあ 肩が張ったわ！
慣れないことを一生懸命したからと
創作活動がきつかったのでしょうか・・・
どれどれ 肩をもんでやるじゃん！
やあ 嬉しい！そこよそこそこ・・・
何とも微笑ましい光景でした。

